

琵琶湖下流域(瀬田川・宇治川・鴨川)における
侵略的外来水生植物の生育状況について平成29年(2017年)6月15日
自然環境保全課

調査日時:平成29年(2017年)6月7日(水)

調査目的:琵琶湖・瀬田川(瀬田川洗堰の上流側)に生育するオオバサミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ等の侵略的外来水生植物が、瀬田川・宇治川等、琵琶湖から瀬田川を通じて下流方向に分布範囲を拡大していないかどうかを確認するため、目視による調査を行った。

調査範囲:瀬田川洗堰付近～宇治川塔の島付近の複数個所、鴨川・いな橋付近

調査者:県自然環境保全課、琵琶湖環境科学研究所センター、近江ウエットランド研究会

結果概要:

【瀬田川洗堰より下流の瀬田川本流およびその周辺】

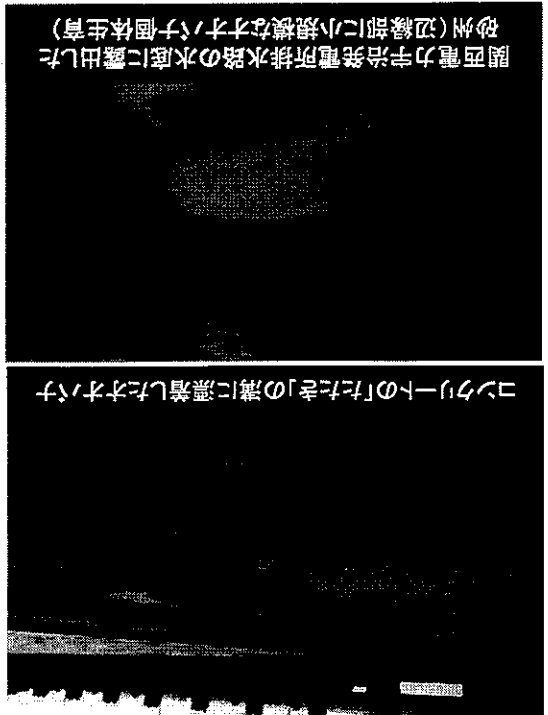
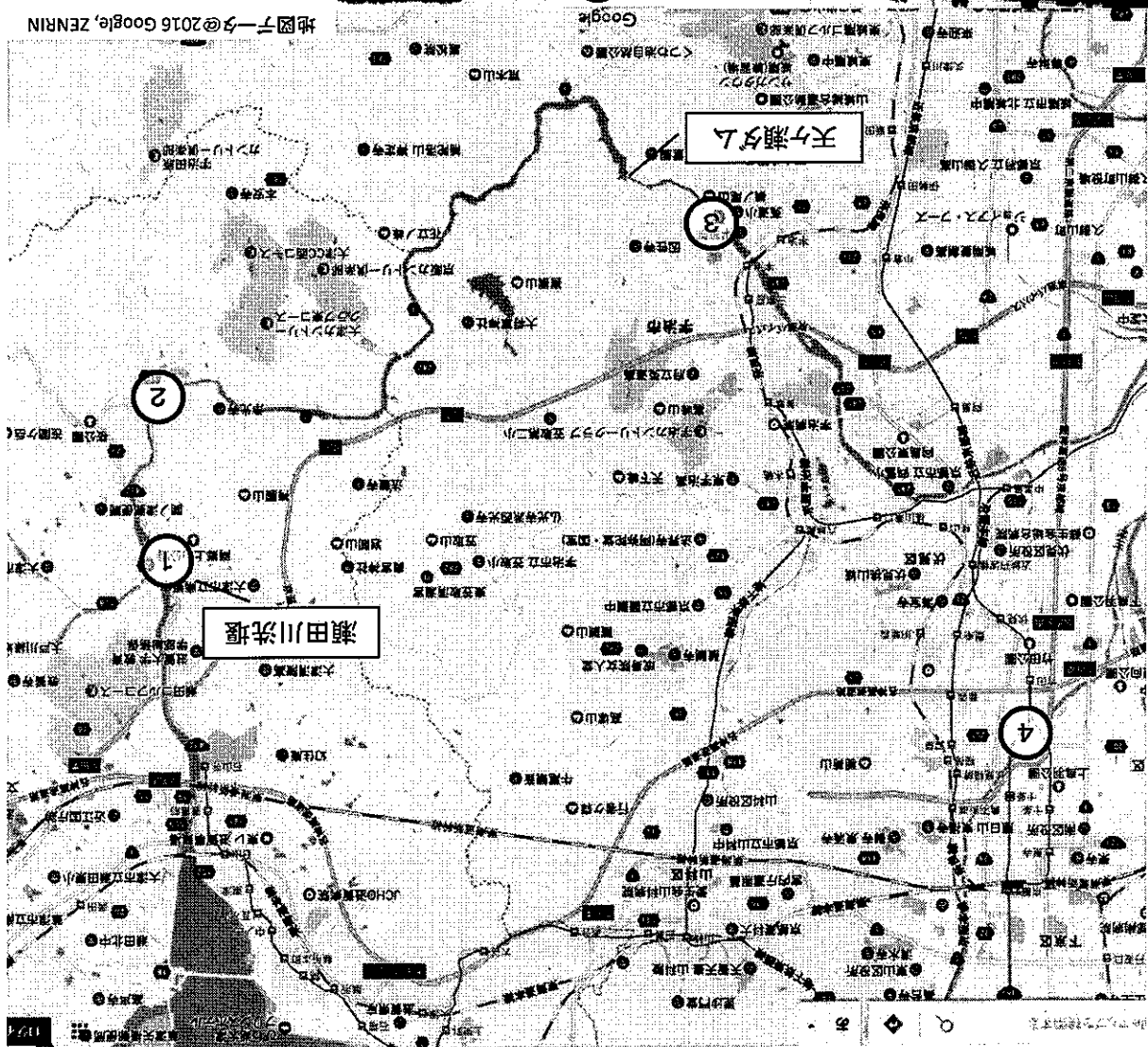
- ・ 洗堰直下の右岸側(大津市南郷)で、局所的にオオバサミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの漂着個体とナガエツルノゲイトウの小規模群落の生育を確認した。＜次ページ①＞(流況の変動や他の植物の生育により、大規模群落にまで成長できないものと推測)
- ・ 大石川との合流点(大津市大石淀)に形成された砂州でオオバサミズキンバイの比較的大規模の大きな群落を含む複数の群落(すべて若い段階)と、小規模なミズヒヤドリ、ナガエツルノゲイトウの群落をわずかに確認した。＜次ページ②＞
- (大石川)の出水時には一掃され、経年的に大規模には成長できないものと推測)

【宇治川】

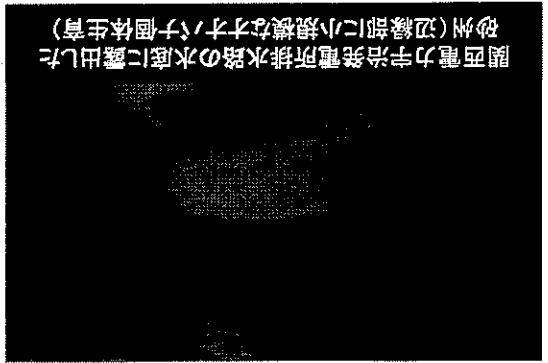
- ・ 関西電力宇治発電所の排水路(宇治市宇治山田)で、取水停止による水位低下により露出した水底の砂州の辺縁部に、オオバサミズキンバイ小型個体を確認。＜次ページ③＞(発電所の取水・排水が通常通り行われている場合には、完全に水没する環境)
- 【鴨川】
- ・ 琵琶湖疏水が流入する鴨川では、いなる橋下流側(京都市伏見区竹田流池町)で、左岸側に小規模群落を複数個所確認した。＜次ページ④＞

対応:瀬田川洗堰下流および宇治川ならびに鴨川における生育状況について、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所および環境省近畿地方環境事務所に一報。今後、他の関係機関にも速やかに情報提供および注意喚起を行う予定。

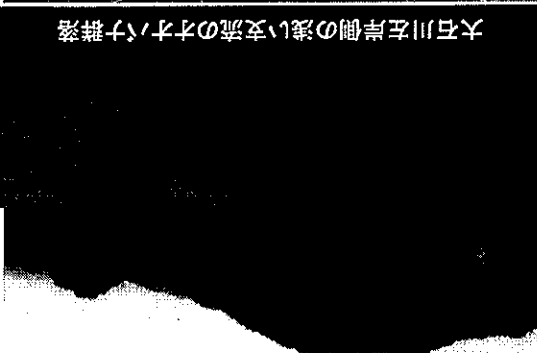
琵琶湖下流域(瀬田川・宇治川・鴨川)における 侵略的外来水生植物の生育状況について



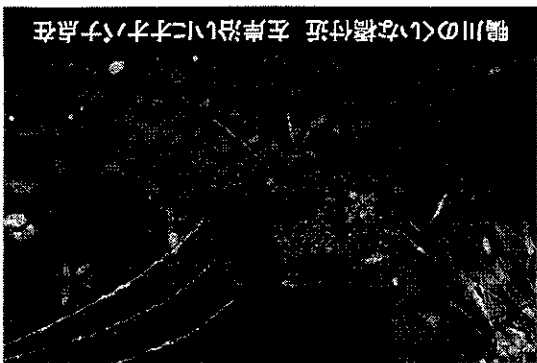
1



3



4



2